

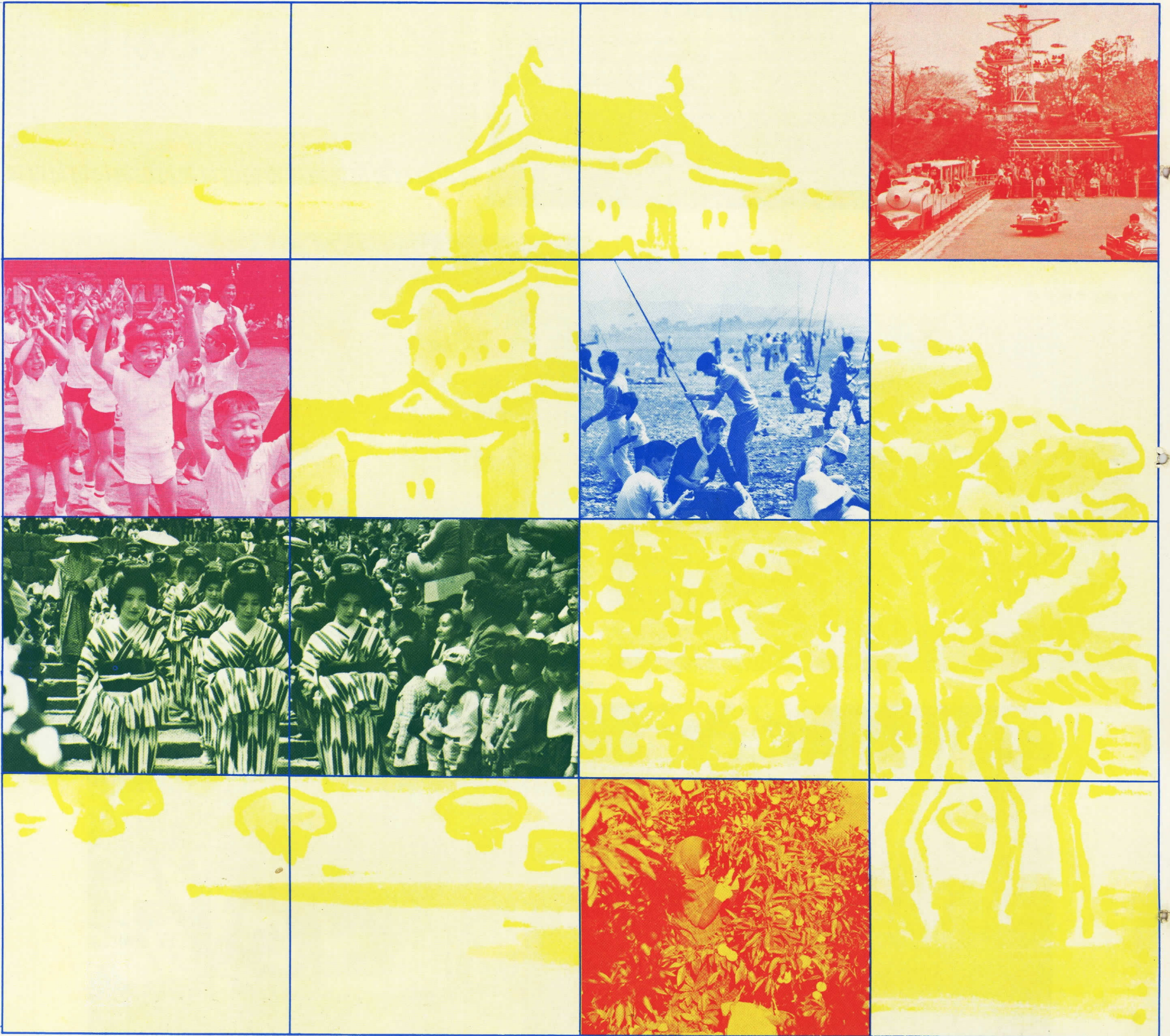
あかるくすみよいまち

市制
30周年
記念号

広報おだわら
—特集—

昭和45年12月20日

編集・発行 小田原市広報課
小田原市城内3番22号 〒250
昭和29年10月25日第3種郵便物認可



市制三十周年に

思う



小田原市長

中井 一郎

「小田原に住んでいます。」というところ
にお住いですね。」とだれもがうらやむ。

古い歴史と伝統につちかわれたまち。首都圏内に
位置し、交通の便に恵まれ、温暖な気候と細やかな
人情と美しい緑に人々の心が潤う文化都市小田原。

これも、恵まれた自然への愛情と時代の息吹きを
意識し、努力された先人によって守り育てられたも
のであり、近代都市に不可欠の産業経済、教育、交
通、福祉など、どの面をとっても他に誇りうるもの
であることは、郷土の発展に尽した人々のかぎりな
い成果といえましょう。

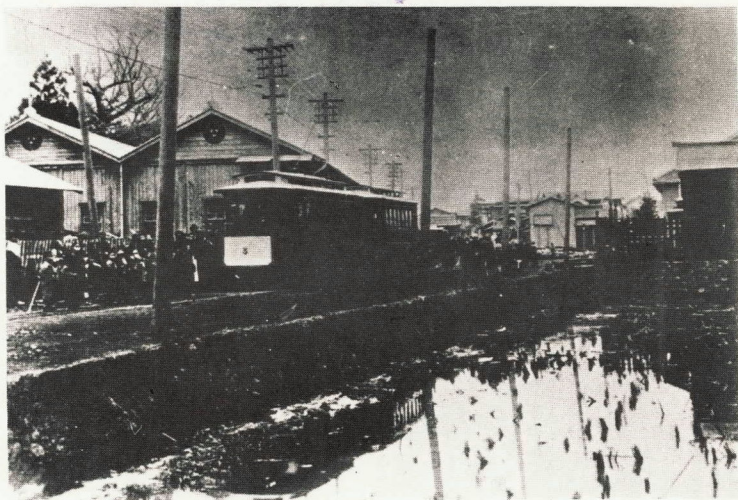
しかし、今後の小田原を考えると、進み行く道
は、激動する社会情勢の中にあつて、決して安易な
ものではなく、急速な社会の歩みが、好むと好まざ
るとにかかわらず、ますます人口の都市集中を強め、
経済の高度成長に大きな飛躍を見せる反面、公害な
どさらに多くの社会問題が激増することは必然と考
えられ、小田原もこの例に漏れないといえます。

私は、この一九七〇年代が持つ大きな課題に対し、
郷土小田原の市民生活が、いつまでも明るく、楽し
いものであるためには、守り継いだ自然保護を念頭
に、新しい時代感覚の施策が必要であると確信して
おります。

この市制三十周年の記念日にあたり、諸先輩のこ
れまでのご努力に深甚なる敬意を表するとともに、
県西における広域市町村圏の中核都市としての小田
原市の輝かしい未来に向って、力一杯努力いたした
いと存する次第です。



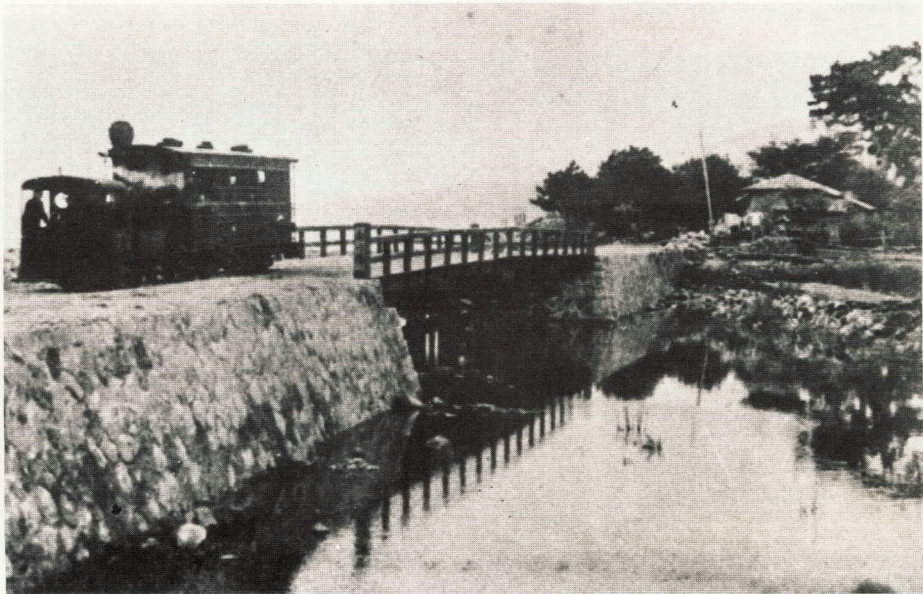
◀現在は本町二丁目小田原信用金庫駐車場付近



▶明治三十年頃の
小田原電気鉄道

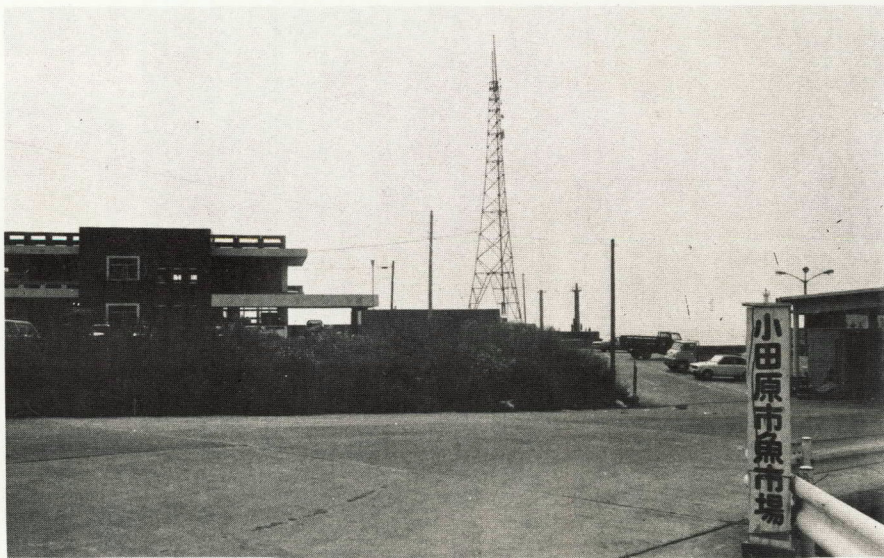


▲熱海線が開通した大正9年頃の国府津

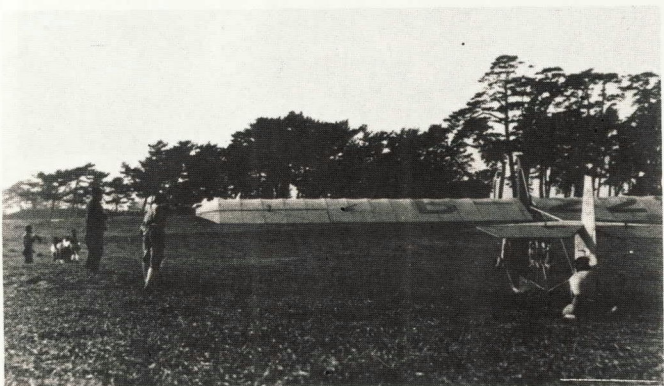


▶明治末期・溜川橋上の
軽便鉄道

▼現在の国府津

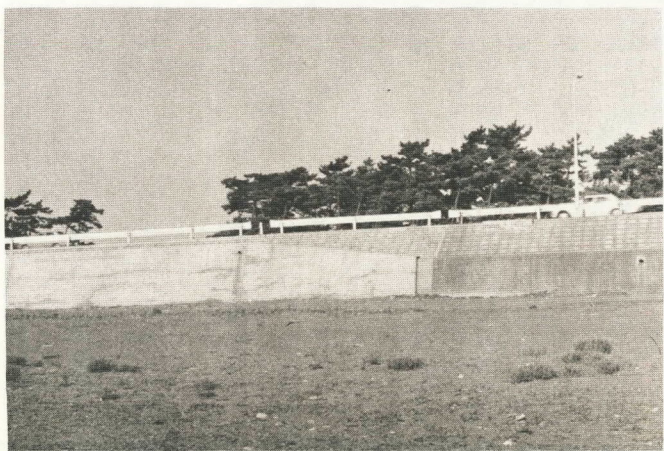


▶現在は早川の
小田原市魚市場付近



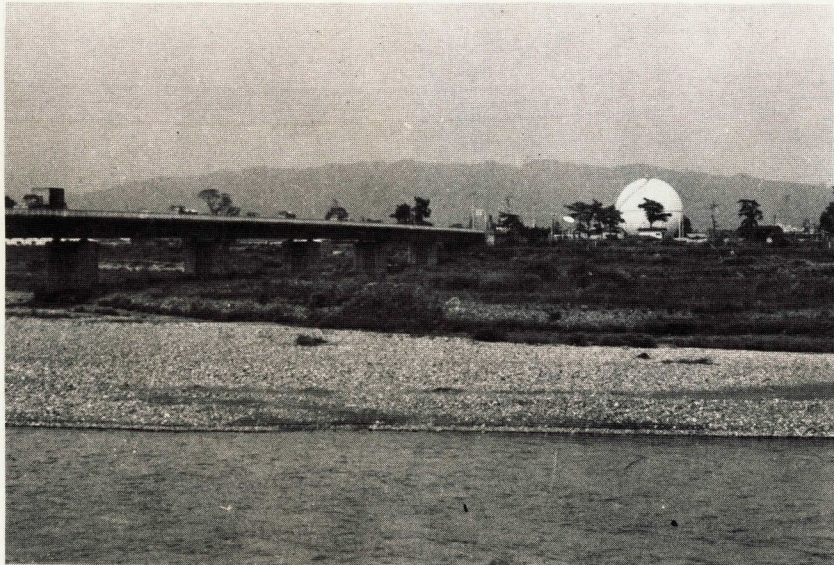
▲昭和15年頃、網一色のグライダー練習場

▼現在の城東高校近く、
西湘バイパスが通る





▲大正中頃の飯泉橋



▼現在の飯泉橋



▲大正中頃のお堀端



▼現在のお堀端



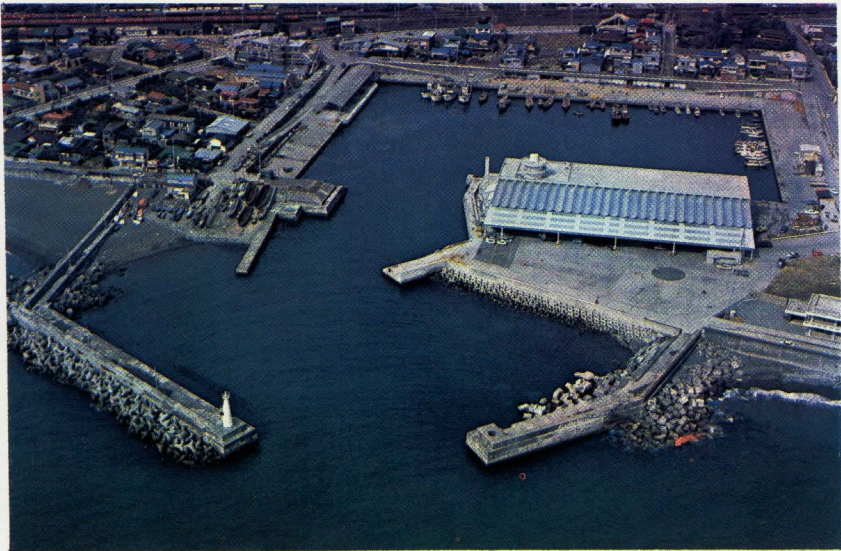
▶現在の
本町一丁目
いろいろ
付近

◀大正初期の
八つ棟造り
旧うしろう

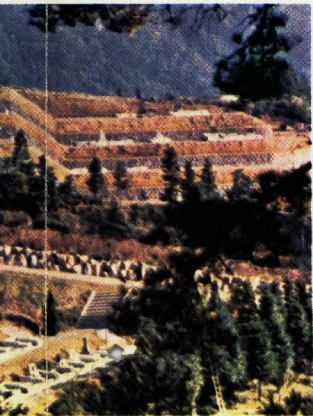
*おだわらの
いまとむかし



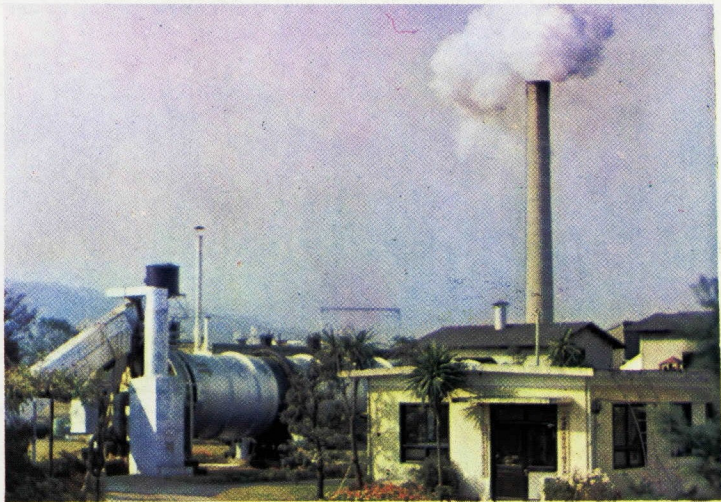
◀41年12月消防庁舎完成



▲38年3月小田原漁港第1期工事完成



◀39年12月軽費老人ホーム完成



▲36年4月完成の高速たい肥化処理場(42年には焼却場が完成)



◀40年8月塔ノ峰青少年の家完成



◀37年7月市民会館大ホール開館(40年5月本館完成)

小田原市三十年の歩み

昭和15年12月

小田原町、足柄町、大窪村、早川村および酒匂村(一部)が合併し、市制を施行

16年3月

市長に益田信世氏就任
市営公益質屋を開設

6月

市長に鈴木英雄氏就任
空襲により市内新玉、万年、幸地区の一部焼失

19年6月

市長に佐藤謙吉氏就任
選挙管理委員会を設置

20年8月

自治体警察を設置
市長に佐藤謙吉氏再選

22年3月

学校給食を開始
6・3制による4中学校を創立

23年3月

消防本部および消防署を設置
下府中村と合併

24年2月

市長に鈴木十郎氏就任
アメリカ文化センターを設置

25年4月

第1回市営競輪を開催
市営城内野球場完成

26年4月

小田原市報第1号を発刊
こども文化博覧会を開催、引き続きこども遊園地、動物園を開設

27年7月

中央公民館完成
桜井村と合併

28年2月

国民健康保険事業を実施
小田原市福祉事務所を開設

29年7月

市立文武館を設置
市立健康学園を設置

30年8月

市立健康学園を設置
豊川村と合併

31年4月

市立健康保険片浦診療所を設置
市立郷土文化館を設置

32年2月

市立健康保険片浦診療所を設置
市立郷土文化館を設置

33年3月

市立健康保険片浦診療所を設置
市立郷土文化館を設置

34年3月

市立健康保険片浦診療所を設置
市立郷土文化館を設置

35年3月

市立健康保険片浦診療所を設置
市立郷土文化館を設置

36年3月

市立健康保険片浦診療所を設置
市立郷土文化館を設置

37年3月

市立健康保険片浦診療所を設置
市立郷土文化館を設置

38年3月

市立健康保険片浦診療所を設置
市立郷土文化館を設置

39年3月

市立健康保険片浦診療所を設置
市立郷土文化館を設置

40年3月

市立健康保険片浦診療所を設置
市立郷土文化館を設置

41年3月

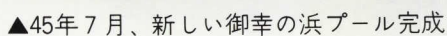
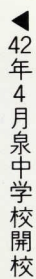
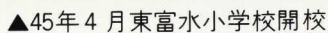
市立健康保険片浦診療所を設置
市立郷土文化館を設置

42年3月

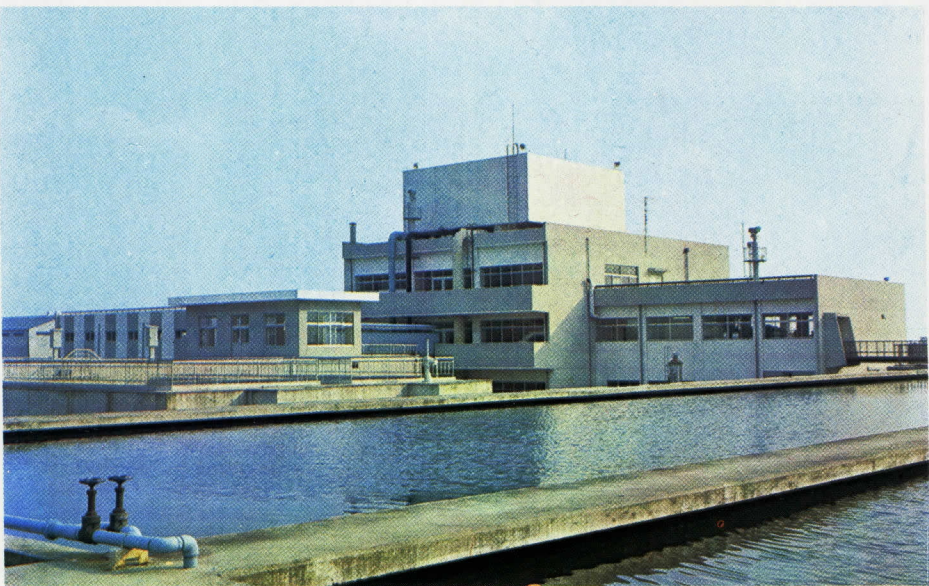
市立健康保険片浦診療所を設置
市立郷土文化館を設置

43年3月

市立健康保険片浦診療所を設置
市立郷土文化館を設置



▲39年12月久野霊園の一部完成



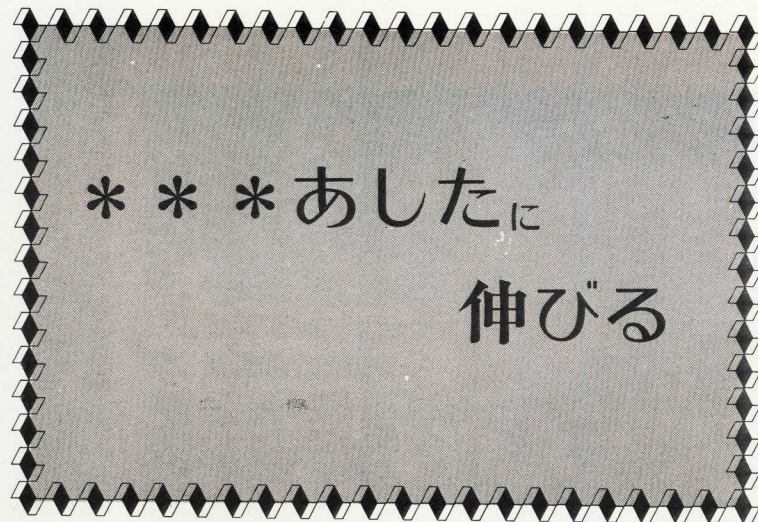
44年7月高田浄水場一部完成



7月	7月	4月	11月	8月	7月	5月	44年2月	7月	4月	43年1月	8月	7月	5月	4月	42年4月	11月	4月	41年4月	11月	8月	7月	5月	4月	40年2月	12月	12月	10月	9月	4月	3月	39年1月	10月	5月	38年3月	10月	10月	7月	4月	4月	37年3月	4月	4月	3月	2月	36年2月	5月	35年1月	11月	7月	3月	34年3月	9月	7月
心身障害者扶養共済制度を実施	新しい御幸の浜プール完成	東富水小学校および東富水幼稚園を開設	小田原漁港が第3種漁港昇格に伴い、県へ移管	県西地域広域市町村圏の設定	高田浄水場二部完成	市長と話し合う会がスタート	御殿場線全線電化の完成	市長に中井一郎氏就任	市民相談室の開設	小田原市魚市場完成	下水道終末処理場で高級処理開始	交通安全指導隊発足	献血事業の実施	市民交通傷害保険の実施（43年4月に交通災害共災に切り替え）	泉中学校開校	妊産婦と赤ちゃんに牛乳無料支給	第1次住居表示整備事業の実施	市行政事務に電子計算機の導入	塔ノ峰青少年の家完成	故河野一郎氏に名誉市民の称号を贈る	上水道第2期拡張事業完成	市長に鈴木十郎氏5選	市宮久野霊園の一部完成	軽費老人ホームあしがり荘が完成	新幹線小田原駅開業	東部13農業協同組合合併	老人の健康診査実施	米神漁港の完成	架替え工事中の飯泉橋開通	小田原国府津間市内通話となる	農業構造改善事業の実施	小田原漁港第1期工事完成	市庁舎城内高校跡に移転	城南中新校舎に移転	市民会館大ホール開館	新しい市民歌さまる	故鈴木英雄氏にはじめて名誉市民の称号を贈る	青少年補導所の設置	消防署西分署を開設	高速たい肥化処理場完成	酒匂幼稚園園舎新築完成	市長に鈴木十郎氏4選	大窪橋完成	小田原城天守閣再建工事完成	ガンの無料相談を開始	星崎記念館完成、市立図書館・児童文化館として開館	下水道10ヵ年計画事業に着手	自主財政再建計画完了	早川橋新設工事完成	敬老祝金制度を創設	自治会（住民組織）結成	市立病院第2期建設工事完了	市立病院第1期建設工事完了



▲風祭インターチェンジ



▲西湘バイパス



▲国道255号線と小田原厚木線の交差



◀電化された御殿場線



▲新幹線小田原駅構内



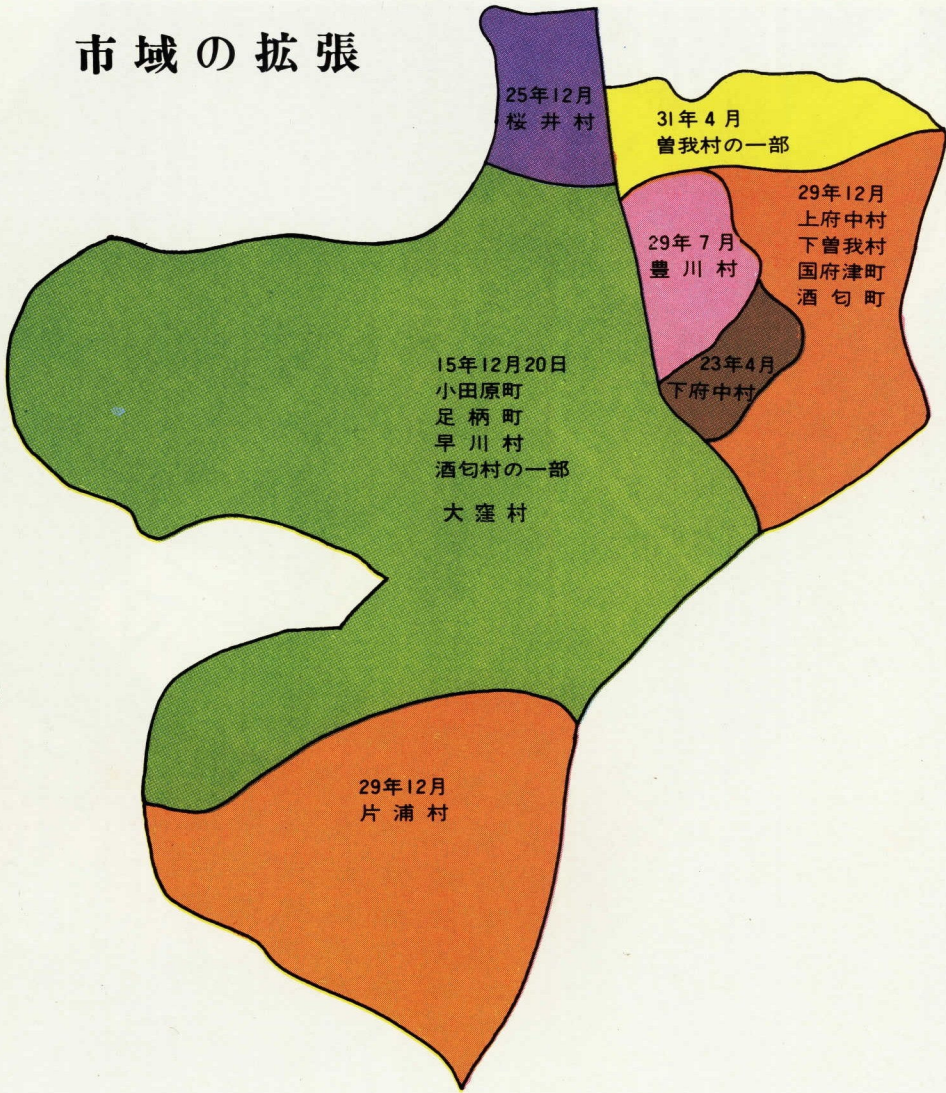
西湘バイパス早川地先の工事

人口の推移



年 月	世 帯	人 口
昭和15年12月	10,749	54,699
20.10	12,627	64,577
25.10	15,834	77,437
30.10	22,287	113,110
35.10	26,158	124,811
40.10	33,615	143,789
45.10	37,364	157,239

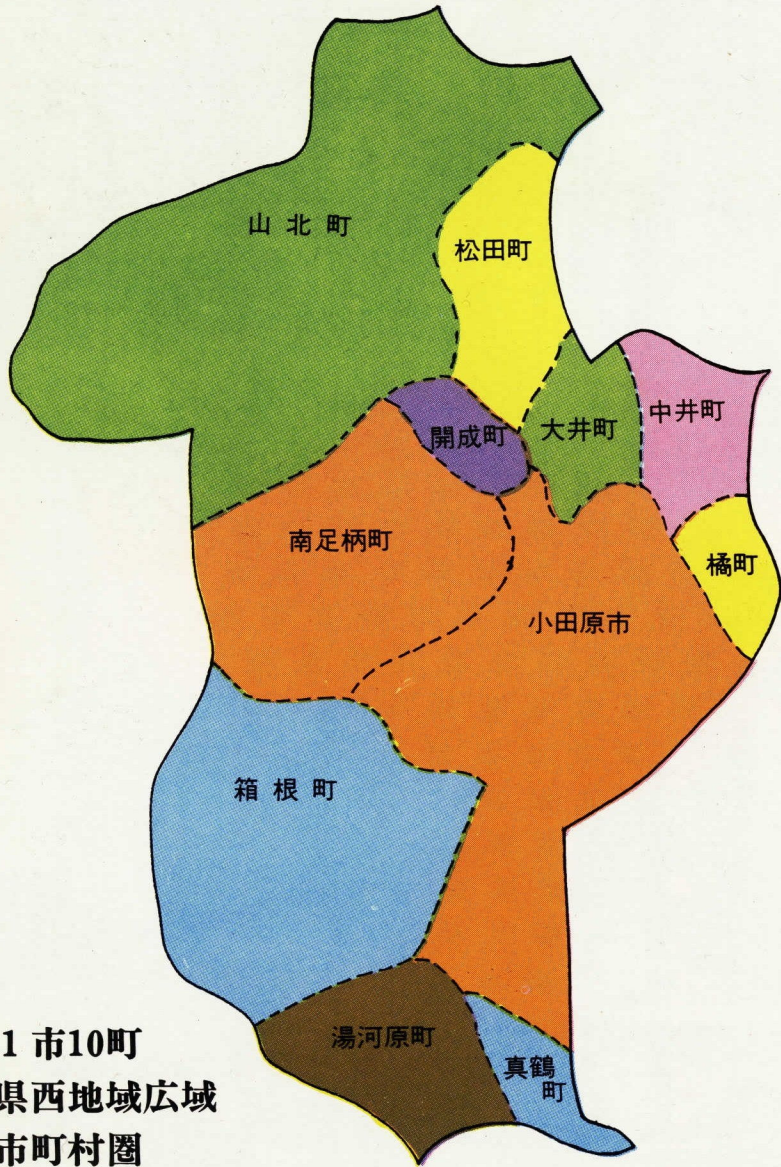
市域の拡張



財政の推移

(一般会計)

内訳 年度	歳 入	歳 出
15	千円 62万 9	千円 66万 7
20	328万 7	279万 5
25	2億 9,543万 4	3億 3,798万 1
30	5億 8,976万 4	7億 310万 8
35	11億 4,707万 6	11億 800万 6
40	32億 3,677万 4	31億 3,105万 6
45	当初予算 54億 1,800万	当初予算 54億 1,800万



1市10町
県西地域広域
市町村圏

新小田原市民歌

作詞 志澤 正 躬
作曲 水谷 良 一

一、富士の見える 梅の丘に
風あふれ
こゆるぎの 空のもと
新しい いのち つくりだす
街 まち
小田原は 若い港だ
ちから強い船が 朝日に向う
あ あ
黒潮の相模灘のりこえて
二、城の光り 樹々のみどり
したたれば
箱根路の うた声と
丹沢のくもに 呼びかける
野や河
小田原は 春の姿だ
虹を仰ぐ子らも 明るく笑う
あ あ
あしがらに大いなる影見せて